

平成23年行政事業レビューシート

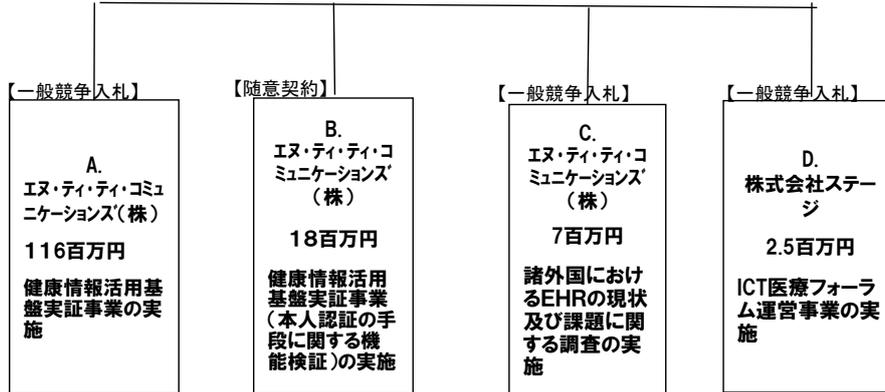
(総務省)

<b>事業名</b>	健康情報活用基盤実証事業		担当部局庁	情報流通行政局	作成責任者			
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成20年度～22年度		担当課室	情報流通高度化推進室	情報流通高度化推進室長 吉田 恭子			
<b>会計区分</b>	一般会計		施策名	V-2 情報通信技術高度利活用の推進				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	総務省設置法 第4条第76項		関係する計画、通知等	新成長戦略、新たな情報通信技術戦略				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	個人が自らの医療・健康情報を生涯にわたって電子的に管理活用し、行政機関や医療機関が国民に最適な医療を提供することを可能とする健康情報活用基盤(日本版EHR)の単一自治体における構築。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	単一の基礎自治体が中核となって、自己の医療・健康情報(健診情報、調剤情報、診療サマリ情報等)の登録・蓄積・閲覧とともに、医師、保健師等の医療従事者等との間で安全な情報共有を可能とする仕組み(EHR)を厚生労働省、経済産業省と連携して開発・実証し、EHRに必要なセキュリティ要件や、住民の健康・医療費に与える効果等を検証。							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	101	184	149	0	0	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	101	184	149	0	0	
	執行額	88	182	143				
執行率(%)	87.1%	98.9%	96.0%					
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	・健康チャレンジ日記登録者数 等		成果実績	健康チャレンジ日記登録者数	0人 (浦添市職員を対象とした試験期間のため)	349人	410人	1000人
			達成度	%	0	34	41	
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	実施したプロジェクトの件数		活動実績 (当初見込み)	件	1	1	3	— ( ) ( )
<b>単位当たりコスト</b>	48 (百万円/件)		算出根拠	単位当たりコスト=執行額(143百万円)/実施したプロジェクト数(3件)				
<b>平成23・24年度予算内訳</b>	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
				22年度をもって事業終了				
	計	0	0					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・急速な少子高齢化とそれに伴う国民医療費の増加が予想されるとともに、疾病構造も大きく変化しており、医療の質の向上と効率化、医療費の適正化、生活習慣病対策の必要性が高まっている。個人が自分の健康情報を管理・利用することによる日常の健康増進対策への取り組みや、医療機関による継続性ある医療の提供は我が国にとって急務である。</p> <p>・本件は、国民の健康情報という非常に秘匿性の高い情報を扱うものである。また、先進諸国では医療分野における様々な課題解決のために国家レベルでの生涯電子健康記録の導入が進められ、さらなる普及に取り組んでいる。我が国でも健康情報活用基盤の構築に向けて国がリーダーシップをとり、そのルール作り等を進める必要がある。</p> <p>・事業開始時に実施計画書・業務管理スケジュールを作成するとともに、総務省、厚生労働省、経済産業省による3省連携の実行委員会において進捗の報告を受けることにより、実証内容の進捗管理・把握に努めた。また、3カ年の取り組みの成果については、浦添市における3省連携健康情報活用基盤実証事業シンポジウムにおいて、報告を行った。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
	22年度をもって事業終了		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
初期の目標を達成し、22年度をもって事業終了			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

# 総務省

143百万円  
実証実験の調達、事業進捗管理



資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

A.イヌ・テイ・テイ・コミュニケーションズ(株)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	実証実験環境設計費 実証実験環境構築費 実証実験実施費 報告書作成費	86			
設備費	実証実験環境設備費	25			
回線費	実証実験回線費	5			
計		116	計		0
B.イヌ・テイ・テイ・コミュニケーションズ(株)			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	実証実験環境設計費 実証実験環境構築費 実証実験実施費 報告書作成費	18			
計		18	計		0
C.イヌ・テイ・テイ・コミュニケーションズ(株)			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	調査研究費 報告書作成費	6			
雑費	旅費	1			
計		7	計		0
D.株式会社ステージ			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	資料作成、当日運営、報告書作成	1			
物品費	印刷費、機器等借料	1			
雑費	謝金、旅費 等	0			
計		2.5	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者について  
 記載する。費目と使途の双方  
 で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(株)	個人が健康情報を安全かつ簡易に蓄積、参照でき、地方公共団体、医療機関、民間サービス事業者等が安全に活用することが可能となる、健康情報活用基盤の効果について検証を行う	115.5	3	95
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(株)	健康情報活用基盤における、多様な認証手段の提供について、機能面での検証を行う。	17.5	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(株)	海外におけるEHRのあり方、導入経緯、成果と課題等に関する調査を行い、日本におけるEHRの導入展開の在り方を検討	6.5	4	44
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社ステージ	ICT医療フォーラム運営事業	2.5	3	82
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					